

## 【理念】

主に難治・慢性疾患の子どもを対象とした医療・保健・療育・福祉サービスの県の中核機関として、安心・信頼・満足の得られる医療・ケアの包括的なサービス提供を行います。

## 【基本方針】

●高度な専門知識と技術の向上に努め、良質で安全な科学的根拠に基づいた医療を、十分な説明と納得の上で提供します。

●地域の医療、保健、療育、福祉、教育機関との機能分担・連携を図ります。

●小児の医療、保健、療育、福祉にたずさわる専門家の育成、学生教育への協力および臨床研究を通じて、県下の小児保健医療の発展と向上に貢献します。

●県立病院の使命としての政策医療を推進します。

## 診療科等のご案内

### ◆ 診療科目

小児科（総合内科・神経内科・アレルギー科）  
こころの診療科（精神科）、整形外科、小児外科、眼科  
耳鼻いんこう科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科

### ◆ その他の外来

予防接種、肥満、発達障害、ダウン症  
臨床遺伝カウンセリング

- 内科系：頭痛、心臓内科、腎臓内科、内分泌・代謝科、血液・リウマチ科
- 外科系：泌尿器科、脳神経外科、形成外科

### ◆ 病床数 100床

## ご利用案内

### ◆ 外来診療

- 小児科（総合内科）を除き、原則として予約制です。
- 診療時間 午前 9時00分～午後 5時00分
- 予約受付時間 午前 8時30分～午後 5時00分
- 休診日 土・日・祝日・年末年始

### ◆ 初診時の注意点

- 0～18才未満の方を対象としています。

### ◆ 初診時に持参いただくもの

- 保険証（国保・協会健保・共済等）：受診時毎月提示してください。
- 母子健康手帳（乳幼児の場合・こころの診療科受診の場合）
- 医療券（公費負担をご利用の場合）

★予約直通電話：077-582-8425★

小児科（総合内科）は予約なしで受診していただけます。  
診療受付は午前11時30分（月～金）までです。

## 地域医療連携室ご利用案内

- 受付時間 月曜日～金曜日  
午前9時00分～午後4時30分  
（土、日、祝日、年末年始は除く）
- 直通電話 077-582-6222
- FAX番号 077-582-6276



### 滋賀県立小児保健医療センター（編集発行）

〒524-0022 滋賀県守山市守山五丁目7番30号  
Tel：077-582-6200  
Fax：077-582-6304  
HP：http://www.pref.shiga.lg.jp/mccs/index.html



～ 病院広報～  
滋賀県立小児保健医療センター  
（平成30年3月発行 Vol.28）

今回は、当院の「予防接種」がテーマです！！

## \*\*\*\*\*はじめに\*\*\*\*\*

ここ10年で日本の予防接種はめまぐるしく変化しました。接種できるワクチンの種類が増え、以前は考えられなかった同時接種も普通に実施されるようになりました。

特に1歳までの乳児期に接種するワクチンが増加し、6種類のワクチンを規定の間隔で15～16回、接種することが一般的です。

重い基礎疾患やアレルギーを有する人でも**予防接種要注意者**として注意をすれば接種可能になります。むしろ、そのような基礎疾患があるからこそ予防接種で予防できる病気は予防しておくことが大切であるという考え方になってきています。

当院は、平成15年より予防接種センター機能を有する医療機関として県から指定されており、予防接種外来ではこうした基礎疾患を有する子どもを対象とした予防接種を中心に滋賀県をはじめ他府県自治体からの依頼に基づいた定期接種の実施、その他の任意接種や海外渡航者向けの接種など幅広く対応しています。



【 予防接種外来の様子：頑張ったね！ 】

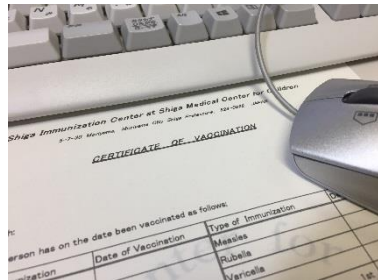
## 予防接種外来 毎週月曜日（9:30～11:00）

毎週月曜日、小児科外来で実施しています。予約は、ワクチン準備の都合上、前週木曜日昼まで受付しています。

対象者は、原則 18 歳未満の方としていますが、状況により担当医と相談後 18 歳以上の方にも対応することがあります。

予防接種法で定められたワクチン以外でも、4 価髄膜炎菌ワクチンなど日本で認可されているものは取り扱いが可能です。

海外渡航者（長期赴任者の家族、留学生等）に対しては予防接種のほか希望される方に英文証明の発行も行っています。



【英文証明にも対応】



【ワクチン準備の様子：たくさんありますが1人分です】

## 予防接種センター

予防接種機能を有する医療機関の窓口として、当院の保健指導部に予防接種センターを設置しています。

国の予防接種センター機能推進事業の業務に基づき以下の業務を行っています。

### ① 予防接種要注者※に対する定期予防接種の実施：

接種自体は予防接種外来で実施し、予防接種センターは書類等の事務処理・管理をしています。

### ② 予防接種に関する知識や情報の提供：

年に1回程度、関係者向けの研修会を開催しています。日頃の相談業務の中でも知識や情報の提供を行っています。

### ③ 予防接種に関する医療相談：

通常の予防接種スケジュールをはじめ、接種間隔の乱れ、規定外接種、副反応、海外渡航者や帰国者への対応など相談内容は多岐にわたっています。保護者からの相談が最も多いですが、地域の保健師、他の医療機関スタッフや他府県の予防接種担当者からの相談にも対応しています。海外渡航中の方からのメールでの相談もあります。

### ※ 予防接種要注者とは

- ◆ 心臓血管疾患、腎臓疾患、肝臓疾患、血液疾患及び発育障害等の基礎疾患を有する人
- ◆ 以前に行った予防接種で2日以内に発熱の見られた人又は全身性発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことのある人
- ◆ 過去にけいれんの既往のある人
- ◆ 過去に免疫不全の診断がなされている人
- ◆ 接種しようとする接種液（ワクチン）の成分に対して、アレルギーを呈するおそれのある人
- ◆ 結核の予防接種にあつては、過去に結核患者との長期の接触がある者その他の結核感染の疑いのある人

### \*\* 予防接種センターへのご相談は \*\*

対応時間：火・木 9:00～16:30

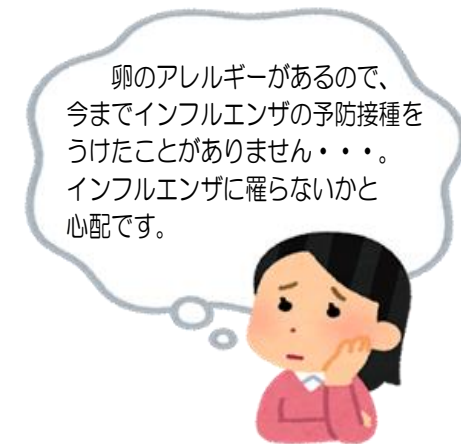
水 9:00～12:00

直通電話：077-582-6296

e-mail : yobou@mccs.med.shiga-pref.jp

## インフルエンザワクチンの接種

インフルエンザについては例年10月頃より12月まで、月曜日以外に特別外来日を設け、多くの人に対応しています。



当院では特別枠で、鶏卵アレルギーの子どもを対象にインフルエンザワクチンの接種を行なっています。

血液検査で卵白特異的 IgE 抗体が陽性でも鶏卵加工品を食べた無症状の人は、接種後の鶏卵アレルギーによる重篤な副反応の報告はありません。ただ、完全除去中の人や鶏卵摂取後にアナフィラキシーを起こした人など判断が難しい場合は、まずは当院をはじめとした専門施設で相談してみましょう。

（一部『予防接種ガイドライン2017年度版』より引用）

## わかセンターのボランティアさん



目で見て感じるその物を、作りたいとイメージがわく。ある日、ある時、突然ピンと浮かぶのが、不思議で嬉しい。それを何とか形にと創作する。材料をあっち、こっちと探し回る楽しさ。

今年で作品は1000点を超えました。今年も何かを作りたいと思う気持ちをいつまでも持てるよう、努力したいと思います。

（入江 恵子）